# 教育理念·教育目標

# 保健科学部

本学は、建学の精神の下、知的、道徳的に優れた医療・教育の専門職業人を育成している。この目標をもつ本学は、「建学の精神」「ときわ教育目標」および学部・学科が定めるアドミッション・ポリシーを理解し、あらゆる人の「いのち」を医療や教育を通して支えていく意欲をもつ人を求める。

### 【教育理念】

本学部は建学の精神の下、"いのち"に対する知性と感性および、豊かな人間性と高い倫理観を身に着けた 医療専門職の育成を目指している。

あらゆる健康レベルにあってその人らしい生を全うすることを希望している人々を、医療専門職として全人的 (ホリステック)に受けとめ、質の高い包括的医療を提供するには、それを可能にする能力を備えなければならない。超高齢化と少子化が進行している我が国にあって、セルフケアを基礎に、一次から三次までの医療を系統的に提供し、人々が暮らしている地域において質の高い包括医療を提供するにも知識と技術を身に着けることが重要である。さらに、グローバル社会にあっては人・物のみならず病気も容易に国境を超え、重大な問題になり得る。本学部はこのような広範囲な医療、あるいは応用的医療を提供できる、幅広い視野をもった医療専門職の育成を目指している。

また、現代医療は、再生医療、遺伝子医療、生殖補助医療、移植医療等、目覚ましい進展を遂げている。医療専門職には、進展する医療技術の成果を理解し、それを的確に提供する能力が必要になる。さらに、適切な医療を提供するうえで多職種の医療専門職が専門的役割と機能を発揮し、かつ協働して行うチーム医療の意義は大きい。医療専門職には、その重要性を認識し理解し、チーム医療の一員として協働してゆくための自覚が求められる。

以上の教育理念の下に、教育目標を掲げる。

#### 【教育目標】

- 1. 医療専門職として、"いのち"に対する知性と感性を育み、心豊かな人間性、高い倫理観を養う。
- 2.トータルヒューマンケアの視点を身につける。
- 3. 進展する技術の成果を理解し、駆使するための基礎的能力を身につける。
- 4. チーム医療における専門職としての責務を自覚する。
- 5. 地域社会、国際社会において保健医療の向上に貢献できる基礎的能力を身につける。

# 医療検査学科

### 【教育理念】

豊かな人間性と高い倫理観を持ち、臨床検査に関する専門的な知識と技術を修得し、医療チームの一員として地域社会はもとより、国際社会においても貢献できる人材を育成する。

#### 【教育目標】

- 1. 医療に携わるものとしての、豊かな人間性と高い倫理観を養う。
- 2. 臨床検査に関する専門的な知識・技術を修得し、医療の高度化に適応できる確かな基礎力と応用力を養う。
- 3. 科学的思考力と研究的態度を身につけ、臨床検査の開発・発展に貢献できる能力を養う。
- 4. 責任感と協調性を身につけ、チーム医療の一員として活躍できる能力を養う。
- 5. 時代や社会の要請に応じ、地域社会や国際社会で保健医療の向上に貢献できる能力を養う。

# 看護学科

#### 【教育理念】

"いのち"に対する豊かな感性と知性、幅広い人間性を備え、的確な看護判断と実践のための基礎的能力を養い、現代のヘルスケアニーズに応じ得る資質の高い看護専門職業人を育成する。

#### 【教育目標】

- 1. 人間と自然を愛し、"いのち"を尊重し、向き合うことができる豊かな人間性を育む。
- 2. 看護の対象の個別性・特性を尊重し、"ヒューマン・ケアリング"を行うことのできる能力を養う。
  - (1)人間の基本的権利を擁護する姿勢を持つことができる。
  - (2)事象への興味・関心を深め、豊かな感性を育み、"苦痛や苦悩"を受け止めて共感的に理解する姿勢を持つことができる。
  - (3)科学的思考力を基盤に、対象の健康経過に伴う身体・精神・社会的"状況"を的確に判断し、柔軟かつ創造的なヒューマン・ケアリングを行うことができる。
- 3. 広く世界に目を向け、保健・医療・福祉チームの一員として、関係分野の職種と協働、連携を図り、看護職の 役割を果たすことができる能力を養う。
  - (1)国際保健や異文化の看護に目を向け、国際看護活動を進めていくための基礎的な知識や態度を身につける。
  - (2)保健・医療・福祉分野への理解を深め、相互に機能していくための連携能力の基礎を身につける。
- 4. 社会の変化に対応し、常に自己啓発するとともに、創造的探究心を高め、看護の本質を追及し、展望する態度を養う。
  - (1)課題を見出し、向き合い、主体的に解決行動を起こす態度を身につける。
  - (2)倫理的感受性と態度を身につける。
  - (3) 看護現象に誠実に向き合い、科学的に探究し、看護実践の質の向上に寄与する研究的態度を身につける。

# 診療放射線学科

### 【教育理念】

いのちに対する温かい眼差しと高い倫理観を備え、放射線技術学における専門的な知識と技術を持ち、社会に 貢献できる専門職業人を育成する。

### 【教育目標】

- 1. 医療に携わるものとして、高い倫理観を備え、人の心に寄り添い行動できる豊かな人間性を育成する。
- 2. 質の高い安全な放射線医療を支えるものとして、放射線医療に関する高度な専門知識力と技術力とを育成する。
- 3. チーム医療の一翼を担うものとして、他の医療従事者と連携・協働できるコミュニケーション能力を育成する。
- 4. 医療の発展に貢献するものとして、科学的思考力と創造的探求心などの研究的態度を育成する。
- 5. 社会に貢献するものとして、グローバルな視点で多様なニーズに対応できる人間力を育成する。

# 口腔保健学科

# 【教育理念】

いのちに対する温かく豊かな感性と高い倫理観を持ち、口腔の健康を通して、人々の健康で豊かな生活実現を 支援できる確かな医療技術と学識を兼ね備え、地域社会に加え国際的にも活躍できる専門職業人を育成する。

#### 【教育目標】

- 1. "いのち"を大切にする豊かな感性と倫理観を養う。
- 2. 口腔保健に関する専門的な知識および技術を習得し、医療の高度化に十分に対応できる確かな能力を身につける。
- 3. 人々の健康で豊かな生活実現を支援できる確かな医療技術と学識を身につける。
- 4. チーム医療の一員としての自覚と責任感を持ち、多職種と協働して活躍できる能力を身につける。
- 5. グローバルな視点を持ち、口腔の健康に対して新たな知見・技術を生み出す応用力を養う。

# 看護学部

# 看護学科

### 【教育理念】

"いのち"に対する豊かな感性と知性、幅広い人間性を備え、的確な看護判断と実践のための基礎的能力を養う。また自己の将来を展望し、時代に即したヘルスケアニーズに応じた責務が果たせるよう、創造力のある看護専門職を育成する。

#### 【教育目標】

- 1. "いのち"に対する温かいまなざしと豊かな人間性、高い倫理観を育む。
- 2. 質の高い看護実践のための専門的な知識と技術の基礎を養う。
- 3. 看護専門職として、地域社会に関心をもち、人々の健康と生活の質を高めるために貢献できる能力を養う。
- 4. 看護専門職として保健医療福祉チームの中での責務を自覚し、協働する能力を養う。
- 5. 看護学の発展に向け俯瞰的・創造的探求心をもち、看護専門職として社会に貢献し続ける姿勢を育む。

# 教育学部

# 【教育理念】「豊かな人間性と教育にかかわる高い専門性を備えた、社会に貢献できる人材を育成する」

教育学部では、人々が社会の中で意欲をもって生活することや、社会のよりよい在り方について、教育に携わる立場から真剣に取り組む人材を育成することを目指している。「教育」は人との関わりの中で展開するものであり、教育者の姿勢が少なからず影響するものである。ゆえに、教育に携わる人材として豊かな人間性を持って欲しい、という思いがある。また、学生個々が社会を構成する一員となることを踏まえ、社会の中で一人の人間として豊かに生きていくことのできる人間として育って欲しいという思いもあり、教育に携わる人材育成の基盤として「豊かな人間性」を置いている。

その上で、社会に生じるさまざまな教育的課題について、高い専門性から解決に取り組むことのできる人材を育成する。

# こども教育学科

## 【教育理念】

豊かな人間性と理論に裏付けされた実践的な教育力をもち、新しい時代や社会に対応できる質の高い保育士・ 教員を養成する。

教育学部こども教育学科では、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、及び中学校教諭(理科)の養成を目指している。これからの社会を担うこどもたちが、社会の中で他者と協働しながら意欲的に生活していくことのできる人材として育つよう、教育に関わる立場から支援できる人材を育成することを使命と受け止めている。

まず、こどもが信頼を寄せることのできる「豊かな人間性」をもった人材を育成し、こどもが人一般に対して信頼を寄せ、協働することの楽しさを感じることのできる原点を形成する。

その上で、教育に関する理論と実践力を持ち、こどもに関わることのできる力を育てる。

また、「理論に裏付けされた実践的な教育力」を育て、自らの実践について理論に基づいて省みて、自らの専門性をより高める人材育成を目指している。

更に、社会情勢・教育的課題は今後も変動するものであり、新たな課題を掌握・予測し、それに柔軟に対応する力も育成する。

- 【教育目標】 1. こどもの保育・教育に携わる者として、豊かな人間性と高い倫理観を養う。
  - 2. こどもの心身の発達を支えるための専門知識と技能を深く修得する。
  - 3. 理論と実践を統合し、社会の要請に応えることのできる教育力を身につける。
  - 4. 実践の場において自ら課題を見いだし研究することにより、保育や教育の質を高める態度を育む。